

## 南アジア4カ国 マーケットレポート

## 【株価指数の推移】 ※…現地通貨ベース

		終値	1月20日比
インド	S&P・BSE500種指数	11,959.40	5.01%
スリランカ	スリランカ コロンボ全株指数	6,119.99	-0.80%
パキスタン	カラチ 全株指数	33,677.16	-0.38%
バングラデシュ	ダッカ総合株価指数	5,365.14	-3.05%

(出所：ブルームバーグ)

## 【為替(対円)の推移】

		終値	1月20日比
インド	インドルピー	1.6730	-0.54%
スリランカ	スリランカルピー	0.7484	-1.98%
パキスタン	パキスタンルピー	1.0750	-1.65%
バングラデシュ	バングラデシュタカ	1.4213	-2.90%

(出所：ブルームバーグ)

## 【インド：インド株式市場、予算案を好感】

インド株式市場のS&P・BSE500種指数は年初からの上昇基調を継続し、+5.01%(1月20日比)と大幅に上昇しました。米新政権によるビザ発給厳格化を巡る懸念から、IT関連株を中心に下げる局面があったものの、財務省により発表された来年度予算案が好感され、再び上昇に転じました。インフラ拡充や農村を中心とする地方経済対策などが評価されたようです。モディ首相に対し、政策検討グループが「肥満税」の導入を提言したと報じられました。食生活の欧米化によって深刻化する国民の肥満や生活習慣病の予防を目的とし、課税対象は、コレステロールを増やす飽和脂肪酸や塩分を多く含むジャンクフードなどが候補となっているようです。

## 【スリランカ：スリランカ株式、年初からの下落基調が継続】

スリランカコロンボ全株指数は年初からの下落基調が継続しました。政策金利の上昇懸念と政治の安定性に対する懸念などが投資家心理の悪化につながったもようです。財務省は、米飲料大手コカ・コーラ社が同国に生産拠点の建設を検討していると発表しました。南アジア地域随一の需要を誇る隣国インドへの輸出を主目的としています。インド飲料協会によれば、インドのノン・アルコール系飲料の市場規模は年間約50億ドルにものぼるそうです。

## 【パキスタン：株価、一進一退の動き】

カラチ全株指数は高値圏で揉み合う展開となりました。20日、パキスタン証券取引所(PSX)の株式40%相当を中国金融先物取引所や上海証券取引所などの共同事業体へ譲渡することが決まりました。取引参加者の裾野拡大につながるとの観測から、市場では好材料と受け止められました。一方、27日にトランプ米大統領が発表したイスラム圏7カ国からの入国制限については、イスラム教徒の多いパキスタンもいずれ対象国になるとの憶測から投資家心理の悪化につながりました。

## 【バングラデシュ：政策金利を据え置き】

バングラデシュ中央銀行は29日に行なった金融政策決定会合で、安定したマクロ経済とインフレ見通しを背景に、2017年上半年(1-6月)の政策金利を6.75%に維持すると決定しました。堅調な輸出セクターや積極的な経済政策の推進によって2017年度の成長率は7%を超えると予想しています。一方で中央銀行は、金融機関が株式などの投機的取引に傾注しないよう監視していくとしました。この声明を受け、ダッカ総合株価指数は軟調に推移しました。

## 当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

## 南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の値動き】〔期間：2016年1月1日～2017年2月3日、現地通貨ベース〕

(出所：ブルームバーグ)



—インド—



—スリランカ—



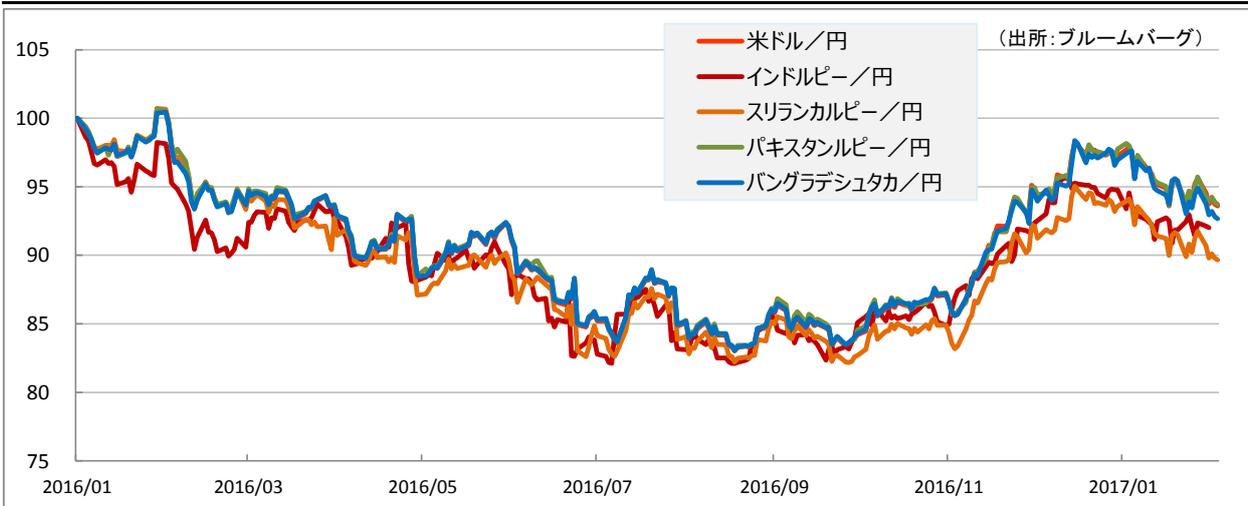
—パキスタン—



—バングラデシュ—

【為替の値動き】

〔期間：2016年1月1日(基準日)～2017年2月3日、基準日を100として指数化〕



### 当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

## 南アジア4カ国 マーケットレポート

### 投資信託の主なリスク

投資信託は、主に国内外の株式や債券、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化、為替の変動等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。

投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、投資市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

### お客様にご負担いただく主な費用

ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 申込時に直接ご負担いただく費用……申込手数料 上限3.78% (税抜き3.50%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用……信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用……信託報酬 上限2.376% (税抜き2.20%)
  - ※一部のファンドについては、運用成果等に応じて実績報酬をご負担頂く場合があります。
  - ※ファンド・オブ・ファンズの場合は、ファンドの投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
- その他費用……上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。  
当該費用は運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記に記載しているリスクや費用項目は一般的な投資信託を想定しています。

費用の料率につきましては当社が運用するすべての投資信託のうち最高の料率を記載しています。手数料の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。投資信託に係るリスクや費用は、各投資信託により異なりますので、ご投資に当たっては、目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧ください。



## アストマックス投信投資顧問株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア5階

商号等： アストマックス投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号

商品投資顧問業者 農経(1)第21号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 / 日本商品投資顧問業協会

### 当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。